

各種集団検診委員会の概要

2016/1/22

委員会名	構成人数	開催回数	内 容	認定等
消化器がん集団検診委員会	14名	年1回	①胃集団検診X線写真の二重読影方式による読影審査 ②胃がん患者の早期発見、早期治療に関する調査、研究 ③読影審査に関する研究 ④撮影技術の向上に関する研究 ⑤大腸がん検診結果の区分に関すること ⑥判定した結果の報告を受けること ⑦検診の実施方法及び精度管理等の検討 ⑧集団検診推進のための調査、研究	日本消化器がん検診学会認定医8名、指導医2名(平成28年1月22日現在)
乳がん集団検診読影委員会	11名	年1~2回	①乳がん患者の早期発見、早期治療に関する調査、研究 ②集団検診の技術向上に関する研究 ③読影審査に関する研究 ④撮影技術の向上に関する研究	日本乳がん検診精度管理中央機構検診読影認定医11名(平成28年1月22日現在)
がん集団検診細胞診判定委員会	8名	年1回	①細胞診標本の判定に関すること ②判定した結果の報告を受けること ③検診の実施方法及び精度管理等の検討 ④委員及び関係職員等の相互研修 ⑤集団検診推進のための調査、研究	日本臨床細胞学会細胞診専門医7名(平成28年1月22日現在)
結核・肺がん集団検診委員会	9名	年1~2回	①結核、肺がん検診(二重読影・喀痰細胞診)の実績検討 ②読影実習 ③精度管理向上に必要な講義の実施 ④検診の実施方法及び精度管理等の検討	国公立病院等の呼吸器外科、内科の専任医師で構成
大分県地域保健支援センター医局	5名	随時	生活習慣病健診、結核、骨密度、がん検診の精度管理及び実績検討	日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本外科学会認定医、日本乳がん検診精度管理中央機構検診読影認定医